

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

議 題	人口誘導・定住促進における市のPR等について その他
日 時	平成31年4月24日(水) 14時00分～17時00分
場 所	職員会館 第会議室
出席者	伊賀広報アドバイザー 市長公室参事 みち・みどり室職員2人 子ども総合相談センター職員3人 ひらかた魅力推進課長及び同課職員4人 広報課長及び同課職員3人
主な意見	<p><人口誘導・定住促進における市のPR等について></p> <p>*ふるさと寄附金について 寄附の使い道をPRするだけでなく、寄附金が実際どう使われて、どのように変わったのかを知らせることが寄附のリピートに繋がる。 体験型の返礼品を紹介する場合、肉や米と同列に並べると選ばれることが少ない。「体験型」「スポーツ」などカテゴリー分けをすることで選ばれやすくなる。</p> <p>*TANEBI×枚方市テーマソングについて 曲は流行っているからこそ、CDなどが売れるものなので、まずは曲を流す機会を増やすべき。エフエムひらかたや市内の飲食店でかけてもらうなど、市民の耳に触れる工夫を。</p> <p><その他></p> <p>*里山講座、森林スペシャリスト育成講座の受講生募集の周知方法 「楽しそう、やってみたい」と思えるような内容を周知するために、動画配信も検討してはどうか。里山講座については、今までの開催方法に固執することなく多くの人が気軽に参加できるような内容を検討したほうがよい。その上で、受講生の次のステップとして森林スペシャリスト講座に参加してもらうという流れをつくっては。</p> <p>*ひきこもり、不登校、ニート等の子ども・若者支援の取り組みのPR ターゲット限定される取り組みなので広く集客するのは難しい。幅広くPRしたいのか差し迫った困った人に届けるのか、狙いを整理したほうが良い。単なる相談窓口の紹介ではなく、どんな風に問題を解決するかなどのプログラムや事例を盛り込むと説得力が出て、実際の利用に繋がりがよいのではないかと。</p>
事務局	市長公室 広報課